

寒さに負けず、元気一杯

アビスパ福岡コーチが鎮西小学校で特別授業

1月17日、鎮西小学校にプロサッカーチーム「アビスパ福岡」コーチの浅野航兵さんと村山仁允さんが来校し、同小5・6年生124人に体育の特別授業を行いました。

市内の総合型地域スポーツクラブL&Sたがわが主催したこの取り組みは、子どもたちがレベルの高い指導者と実際に触れ合うことで、スポーツに対する関心を高め、体を動かすことの楽しさを知ってもらおうと開催されたものです。

子どもたちは、2人のコーチと一緒に、サッカーボールを使ったゲームなどを行い、体育館中を元気に走り回りました。

野元彪賀くん（5年）は「みんなで協力しながら、楽しくゲームができました」と笑顔で話しました。



▲ボールを追いかけ、思い切りダッシュ!!



▲ベルトを肩にファイティングポーズを決める田丸くん

お兄ちゃんに追いつけ、追い越せ

田丸歩夢くんがムエタイ王座を戴冠

1月21日、TTPジム（本町）所属の田丸歩夢くん（弓削田小2年）が市役所を訪れ、12月9日に千葉県我孫子市で開催されたムエタイの「第55回M-1アマチュア全国大会」25kg級タイトルマッチに勝利し、M-1王座初戴冠を果たしたことを報告しました。

王座決定戦では、小学4年生の相手に対し、恐れることなく得意のパンチで攻め立て3対0の判定で勝利した田丸くん。兄の太樹くん（弓削田小6年）もムエタイの大会で日本チャンピオンになった経験があり、兄弟で見事王座に輝きました。

田丸くんは「勝てると思っていたので緊張はしなかった。目標はお兄ちゃんみたいに強くなること」と話しました。

シリーズ 田川市立病院だより



形成外科医長
柳澤 陽平

明宏

診療科の紹介－形成外科

田川市立病院形成外科は、平成11年に開設され、平成23年度からわたしが診療にあたっています。田川市内には2か所の形成外科施設があり、市立病院はそのうちのひとつです。

形成外科は、体表面にかかわる外科で、できるだけ元の機能まで回復し、さらに外見的に目立たないように治療を行います。形成外科が専門分野としている疾患は、先天奇形（唇が割れている、指が多い、指がくっついていて、耳の変形など）、

皮膚の腫瘍や皮下の腫瘍、手の外傷（骨折や傷、腱や神経の損傷、指の切断など）、熱傷、顔面の外傷（骨折や傷）、皮膚潰瘍（なかなか治らない傷）、瘢痕（傷跡が目立つ）、眼瞼下垂（まぶたが上がりにくい）、巻爪（爪がくい込んで痛い）などです。このような状態が生じた時は、ぜひとも形成外科を受診してください。対応が不十分な点もあるとは思いますが、スタッフ一同頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック